



さんしのもりけんきゅうじょ

蚕糸の森研究所

令和元年度 2019年4月～2020年3月

2年生 花だん研究室

杉並区立 杉並第十小学校



2年生 花だん 研究室

研究のテーマ

地域・保護者の方と共に作り上げる

- 自分たちの住む地域の花だんの役割や機能に気づき、それらを支えている人々の工夫や気持ちに気付く。
- 地域の方と協力し、花だんをつくり上げ、地域の人が自分たちの花だんに思いをもってくれていることを知る。
- 生活の中に自然や季節があることの心地よさや快適さ、清々しさなどを感じ、自らの生活を潤いのあるものにしていくとする。

●5月 花だんの植え替え見学

植え替えの作業を見学し、PTAの方々と区役所みどり公園課の方々が定期的に花だんの植え替えや手入れをしてくれていることを初めて知りました。



見る人のことを考えて植えてみるといいんだな。

●5月 杉十小の花だんの話

杉十フレンズの綱川さんに杉十小の花だんについてのお話を聞きました。なぜ、花だんができたのかその理由を初めて知り、自分たちも花だんの植え替えをしてみたいと思いました。



私たちが花だんの植え替えをしてみたいな。

高さを変えてみるといいんだな。

杉十小の花だんは、ほくたちの安全を守るためにあるんだな。

おもな研究場所



2年生が植え替えをした花だん

2019年

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2020年

1月

2月

3月

●6月 どんな花だんにしたいか考える

自分たちの思いや願いを花だんのテーマにしたいと考えました。子供たちからは「かがやきの花だんにしたい。」「気持ちのいい花だんにしたい。」などの考えがでました。



かがやきの花だんにしたい

気持ちのいい花だんにしたい

●7月 1回目の花だんのデザインを考える

杉十小の花だんを通る人の気持ちを考えながら、グループごとにテーマをもち花だんのデザインを考えました。植え替えを心待ちにしています。



かがやきの花だんだからいろんな色を使おう

元気が出る花だんがテーマだから、元気が出そうな色を選びました。

●9月 1回目の植え替え

花の扱い方や、植えるときのコツを教えてください、花を大切にしながら植え替えをしました。当日になって、本物の花を見て、デザインを変えた班もありました。また、看板も立てました。



どこを正面にしたらきれいなかな。

●10月 アンケートを取り、振り返る

感想を聞いてみたいという思いから、アンケートを取りました。2回目の植え替えにどう生かしていこうか、それぞれのグループで考えました。



きれいだったってアンケートがたくさんきているよ。

次はほかの班の良いところを真似してみよう。

●10月 2回目の花だんのデザインを考える

前回の反省を生かし、さらに良い花だんを作るにはどうしたらよいかを考えました。花の種類も変わったので、高さ、色などに気をつけてデザインしました。



次は高さを気をつけてみようよ。

●12月 2回目の植え替え

お花の扱いにも慣れてきて、「もっと花と花の間を開けよう。」などと相談しながら植え替えをすることができました。植え替えの後は1回目より満足そうでした。



今回は、みんなに気持ちよくなってもらうぞ。



1回目は、花の向きが前を向いていなかったから、今回は向きを気をつけよう。

児童の学びの振り返りと成果

生活科の学習過程

思いや願いをもつ

活動や体験をする

感じる・考える

振り返る・伝え合う

新たな
思い・願いを
もつ

1回目の花だんの植え替えをしたときの振り返り

ぼくは、班で話し合いをして花だんのデザインを考えました。

花の名前や種類からどのように場所を決めていくか、とても難しかったです。植え替えをしてみると思い通りにはいきませんでした。おうちの人たちがいろいろ教えてくれたので、上手に植え替えができました。2回目の植え替えは、自分たちでできるようになりたいです。

2回目の花だんの植え替えをしたときの振り返り

1回目の植え替えの時には、何本か前を向いていない花があり、あまりきれいに植え替えをすることができませんでした。今回の植え替えでは、向きに気を付けることを考えながら植え替えをしました。そして、どうしたら通る人が気持ちよくなるのかを考えながら植え替えをしました。このことを考えながら植え替えをしてみると、とてもきれいに植え替えることができました。おうちの人にも「きれいにできたね。」と言われてうれしかったです。

成果と課題

成果

生活科の学習に意欲的に取り組む児童が増えた。

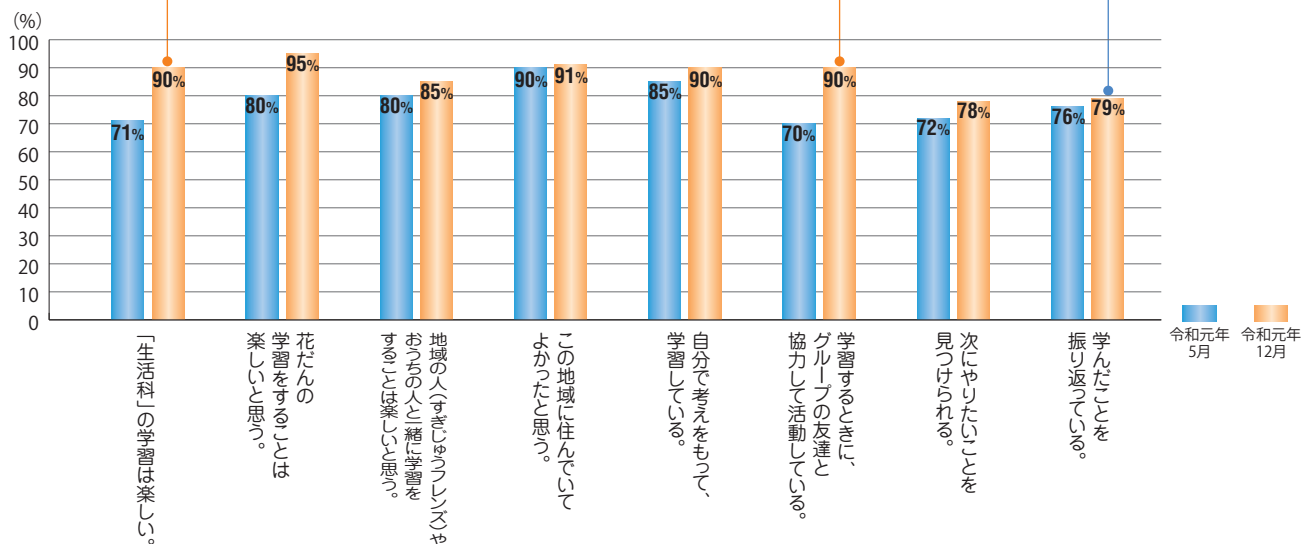
杉十小の花だんにはどんな役割があるのか、お話を聞けたことで、自分たちにもできることを考えながら学習に取り組むことができました。自分事としてとらえることで生活科の楽しさを味わえた。

成果

協同的に学習を進めることができる児童が増えた。花壇のデザインを決める活動など花だん研究室を通して、同じグループで行うことで、友達と関わりながら学習することができた。

課題

次の見通しをもって学習するところに課題があった。次の学習への意欲をどのようにもたせるかが今後の課題になった。



「蚕糸の森研究所」各学年研究室

